

鳥取市緑のまちづくり基本構想策定方針（案）

1. 基本構想策定の背景

平成21年4月に緑に関する総合的な計画である鳥取市緑の基本計画を策定した。

計画では①みんなで守る豊かな緑、②みんなで創る緑の拠点、③みんなでつなぐ水と緑、④みんなで広げる緑の輪、の4つの基本方針に基づき平成37年度を最終年度として32の施策を掲げている。

しかし、全国的に人口が減少する中、公共施設としての緑の確保についてはより慎重な対応が必要となっている。

一方で昨年開催した全国都市緑化とっとりフェア（以下「緑化フェア」）の開催を契機として、鳥取の自然の豊かさを街なかでの生活に取り入れ、またその魅力を来訪者に知っていただき周遊観光等を生み出すことについて様々な市民協働の実践とアイデアが提供されている。

そのため、従来の計画では平成30年の中間年次に行う予定である基本計画見直しに先だって平成27度から平成37年度までを実施期間とする緑のまちづくり基本構想を策定する。

2. 基本構想策定の考え方

- (1) 社会経済情勢の変化を踏まえつつ、引き続き市民との協働により実現すべき緑のまちづくりの考え方について緑化フェア等の取り組みにより得られた知見をもとに整理を行う。さらに、その考え方にもとづいた、実現すべき目標を設定する。
- (2) 鳥取市景観形成審議会の意見を聴取しつつ検討を進める。
- (3) 平成25年開催の全国都市緑化とっとりフェアの開催により生まれた有形、無形の財産を鳥取市として活用していくために設置されたガーデンシティ推進本部において、その業務計画（案）との整合を図りつつ検討を進める。

3. 基本構想策定のスケジュール

5月	景観形成審議会の意見聴取
～6月	基本構想の方向性骨子（案）の検討
7月～12月	検討委員会の開催（詳細未定）、景観形成審議会の意見聴取
翌年1月	市民意見募集の実施
翌年2月	景観形成審議会への報告
翌年3月	策定・公表

4. （参考）ガーデンシティ推進本部業務計画（案）（平成26年4月21日版）における緑の基本計画の検討に際して想定される課題の記載

- ①数値目標の再設定
- ②制度創設等の目標の見直し
- ③市道の街路樹についてのアダプト（養子）制度導入
- ④市の公共施設の計画時に踏まえるべき緑の考え方（生活圏の中の自然の確保）等に関する整理